資料２
全国的な学力調査に関する専門家会議（令和８年度第４回）
2026年11月26日（木）15:00～15:30

# 令和９年度全国学力・学習状況調査（悉皆調査）
# 質問調査について

# 質問調査の検討に係る基本的な考え方

＜項目数＞

- ✓ 回答者の負担等を考慮し、**総数の大幅な増加は避ける**。
- ✓ **児童生徒質問は80項目程度、学校質問は90項目程度を目安**とする。

＜内容面＞

- ✓ 経年変化の把握や施策効果の継続的な検証を可能とする観点から、**質問項目の構成の大枠は維持**する。
- ✓ その上で、直近の教育政策や分析ニーズ等に対応するため、**必要な範囲で項目の追加・見直し**を行う。

＜調査頻度＞

- ✓ 「毎年度質問項目」「隔年質問項目」「３年サイクル項目」で整理。
- ✓ 令和９年度の「３年サイクル項目」は【C項目】。

・ 毎年度質問項目　：　教育振興基本計画の指標になっている項目など
・ 隔年質問項目　　：　回答者の負担を軽減する観点から、隔年で質問する項目
・ ３年サイクル項目：　当該年度の調査内容を踏まえて質問する項目
【A項目】「理科」の教科調査を実施する年度（R10）
【B項目】「英語」の教科調査を実施する年度（R11）
**【C項目】「保護者に対する調査」を実施する年度（R９）**

# 児童生徒質問調査の構成（案）

令和９年度調査における児童生徒質問調査の構成は、令和８年度調査と同様とする方向で検討。

| 児童生徒質問 |
| --- |
| １．基本的生活習慣等 |
| ２．挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等 |
| ３．学習習慣、学習環境等 |
| ４．地域や社会に関わる活動の状況等 |
| ５．ICTを活用した学習状況 |
| ６．主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況 |
| ７．総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳 |
| ８．学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語） |
| ９．学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学） |
| 10．学習に対する興味・関心や授業の理解度等（理科） |
| 11．学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語） |
| 12．各教科に関する調査の解答状況 |

# 学校質問調査の構成（案）

令和９年度調査における学校質問調査の構成は、令和８年度調査と同様とする方向で検討。

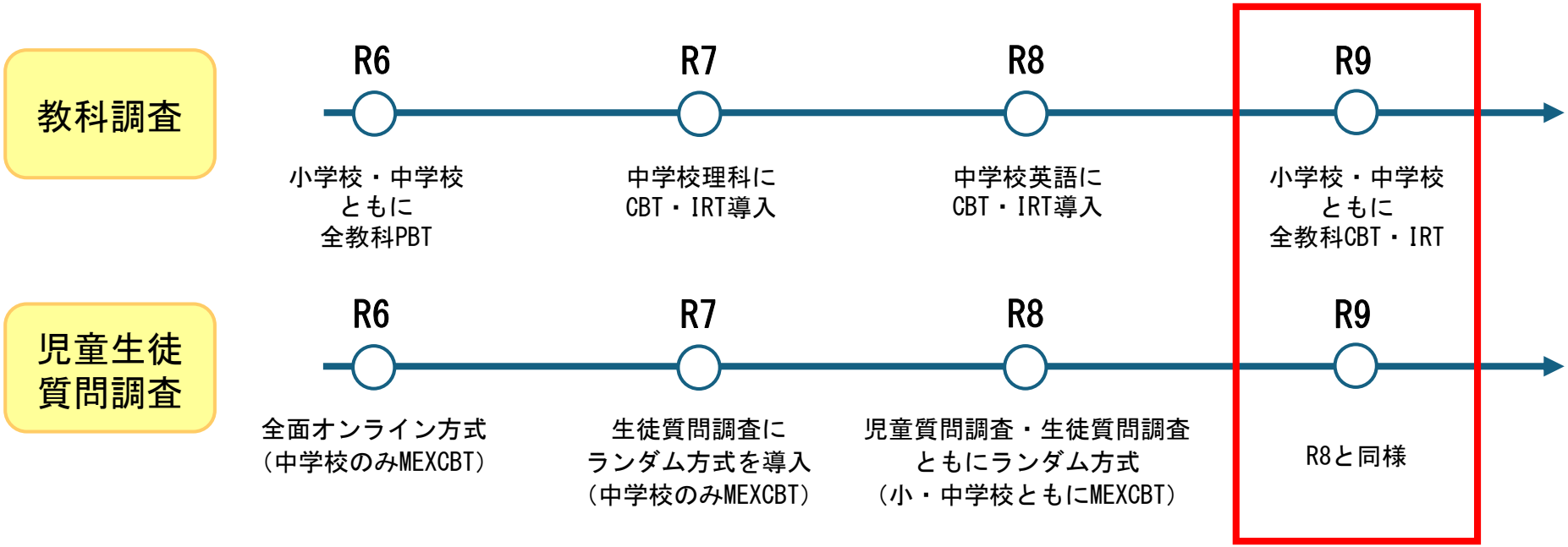
| 学校質問 |
| --- |
| １．学校規模等 |
| ２．生徒指導等 |
| ３．学校運営に関する状況、教職員の資質向上に関する状況 |
| ４．主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況 |
| ５．総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法 |
| ６．学習評価 |
| ７．国語科の指導方法 |
| ８．算数・数学科の指導方法 |
| ９．理科の指導方法 |
| 10．英語科の指導方法 |
| 11．ICTを活用した学習状況 |
| 12．特別な配慮が必要な児童生徒への指導 |
| 13．小学校教育と中学校教育の連携 |
| 14．家庭や地域との連携等 |
| 15．家庭学習 |
| 16．全国学力・学習状況調査の結果の活用 |

# 児童生徒質問におけるランダム方式の取扱い

多様な政策課題に対応するために必要な質問項目を確保しつつ、回答者の負担軽減を図るため、児童生徒質問調査の質問項目の目的を整理し、**目的①に該当する項目は「悉皆」で、目的②に該当する項目は「ランダム方式」で実施することを基本**とする。

**目的①** ： 児童生徒の指導に生かすため、自治体・学校単位で結果を把握・分析することが考えられる項目

**目的②** ： 全国的な傾向を把握し、政策の企画立案・検証等に活用することを主な目的とする質問項目



# （参考）過去３年間の質問調査の項目数

| | | 児童生徒１人当たりの | | 設定質問総数 | | 学校１校当たりの | | 設定質問総数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 質問項目数 | 回答数（ランダム含む） | | | 質問項目数 | 回答数 | |
| 令和８年度 | 児童質問 | 73 | 75 | 101 | 小学校学校質問 | 85 | 93 | 93 |
| | 生徒質問 | 80 | 83 | 112 | 中学校学校質問 | 93 | 101 | 101 |
| 令和７年度 | 児童質問 | 71 | 80 | 80 | 小学校学校質問 | 84 | 91 | 91 |
| | 生徒質問 | 72 | 77 | 88 | 中学校学校質問 | 84 | 91 | 91 |
| 令和６年度 | 児童質問 | 63 | 69 | 69 | 小学校学校質問 | 76 | 81 | 81 |
| | 生徒質問 | 65 | 71 | 71 | 中学校学校質問 | 80 | 85 | 85 |

# 令和９年度質問調査項目の検討に係る方針（案）

○ 政策上、**継続的に実態や変化を把握する必要がある項目**については、経年比較への影響に留意し、**原則として継続**する。

○ 現在**重点的に推進している政策**や、**今後推進する必要がある政策**のうち、**企画立案や実施状況の把握、効果検証に必要なエビデンスの充実が求められる事項**については、質問内容を十分に精査の上で、**項目の追加を検討**。

○ 国、教育委員会、学校、研究機関等における**活用が限定的な項目**については、今後の活用可能性も考慮した上で、**見直しを検討**。

○ 教科調査の結果や他の質問項目との関連や分析結果等を踏まえ、**政策上・分析上の有用性が明らかでない項目**については、**見直しを検討**。

○ 特に学校質問調査において、**回答が一方に偏っている項目**については、政策上・分析上の必要性や経年比較の意義等も考慮した上で、**見直しを検討**。

○ 質問の趣旨や判断基準が明確でない項目については、文言や選択肢の見直しを検討。

# 令和９年度質問調査項目の検討の視点と具体的な項目例（案）

〇令和８年度調査の結果を踏まえた項目の充実

・学力面で課題を抱える児童生徒の学力向上や学習状況等の分析に資する項目

・SNSの利用や動画の視聴に関する項目

〇直近の教育政策等を踏まえた項目の充実

・学習の自己調整や学習方略に関する項目

・生成AIの利活用に関する項目

〇「保護者に対する調査」の実施と関連した項目の充実

・家庭における学習・生活状況や保護者との関わりに関する項目